

# 静岡大学 理学同窓会会報

No. 36

発行所  
静岡大学  
理学同窓会事務局  
静岡市駿河区大谷836  
静岡大学理学部内  
電話・FAX (054) 238-3081  
E-mail:  
scialm@shizuoka.ac.jp

## 今年度を振り返って

理学部長 田中直樹



理学部長として、来年度より2期目を務めます。よりしくお願ひ申し上げます。これまでの評価を踏まえながらこれからの計画を策定する重要な時期に理学部の能取りをすることになります。大学再編の行方など、静岡大学として取り組むべき大きな課題もあり、重責を感じております。理学部の構成員の活力、アイデアを結集し、より良い理学部へ進化することを目標にしたいと考えています。例えば、本学の教養的数理データサイエンス教育から有機的に接続する企業との連携による教育プログラムの実施、理数系の高校教員養成と高校生への科学的素養の育成の両輪となる高大連携の枠組みの構築を模索してみたいと考えています。

本年度は、新型コロナウイルス感染症への対策により、実験・実習や学習支援強化が必要な科目を除く多くの科目において、オンライン授業を実施することになりました。大学生活への期待を胸に入学した1年生にとつて、本来の大学の姿を体験することなく1年が過ぎようとしていることはとても残念な出来事です。そのような中、学生支援サイトを新設し、理学部の教員の研究、趣味を綴るブログリーを掲載しました。この取組が、学生との距離を少しでも保つことに繋がっていると思っております。本号にその内容を一部取り上げていただいておりますので、ご覧いただければと思います。

コロナ禍という厳しい状況の中であっても、この春には卒業生・修了生が希望を胸に本学を巣立っていきまします。卒業生ならびに修了生の皆さん、卒業そして修了おめでとう申し上げます。心よりお祝ひ申し上げます。皆さんには、真理の追究を軸とした理学教育を受け、高校時代からの数理科学への純粋な好奇心に磨きをかけて身に着けた、社会が抱える新たな課題を発見する力やそれらを解決する力が

コロナウイルス禍で困窮している学生の支援 (1)  
新型コロナウイルスSARS-CoV-2 (2) (3) (4-5) (6) (7)

の好きな松下幸之助氏の言葉をかりて、自分を励ます言葉を心にもちつつ、それぞれの価値観で人生を歩んでいってほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症防止のため、同窓会のご援助のもと開催しております祝賀会を本年も中止することになり、理学部・理学専攻として卒業・修了を祝福する機会を失ったことをとても残念に思っています。4月から、卒業生・修了生は静岡大学が母校となり、同窓会の皆様の後輩として、様々な分野で活躍して、様々な分野で活躍して、同窓生の皆さんが愛着を持って静岡大学理学部が活躍の場となることを願っています。私

はじめに理学同窓会会長を務めることになりました。承認いただく必要があり、その上での挨拶になります。04年度から17年間の長きにわたって同窓会会長として同窓会活動の振興にご尽力賜りました。深く感謝申し上げます。ともに今後もお手伝いしていただけたらという事で重ねてお礼申し上げます。さて、2020年度はコロナウイルスの猛威にこれまでの生活が一変した1年となりました。大学では、入学式の中止に始まり平素の講義も対面型からリモート講義に代わるなどゼミ活動・研究活動も大きく制限

くお願ひ申し上げます。理学部の教員配置に変化がございます。本年10月、化学科に関根宏講師、地球科学科にルグラン・ジュリアン助教をお迎えしました。若き熱意と情熱に国際性も加味した教育研究に期待しているところです。一方で、この3月末には、数学科の浅芝秀人教授、物理学科の松山晶彦教授、生物科学科の塩尻信義教授と山内清志教授が定年により、生物科学科の成川礼講師が割愛により退職されます。理学部の教育研究及び管理運営にご尽力くださったことは同窓生の皆様にも記憶に残っていることと存じます。ここに先生方のご功績に敬意を表したいと思います。

最後に、同窓会の皆様の益々のご活躍をお祈りするとともに、これまでと同様、静岡大学理学部をご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

学生たちにとってどんなメッセージを同窓会として贈ればいいのか考えさせられました。そうした中で理学部の先生から困窮している学生への経済支援のご依頼が同窓会にも寄せられました。活発な同窓会活動を継続する原点は、何よりも学生が充実した生活を送り大学の先生方や同窓生も含めて密接な関係を構築していくこととあります。静岡大学理学部を母校と呼べる、そうした役割を果たせるよう同窓会としても要請を重く受け止めます。是非ともご支援をお願いして挨拶とさせていただきます。

### 同窓会活動の

### 決め手は学生支援

理学同窓会 会長 鈴木富喜



にわたって会長として同窓会活動の振興にご尽力賜りました。深く感謝申し上げます。ともに今後もお手伝いしていただけたらという事で重ねてお礼申し上げます。さて、2020年度はコロナウイルスの猛威にこれまでの生活が一変した1年となりました。大学では、入学式の中止に始まり平素の講義も対面型からリモート講義に代わるなどゼミ活動・研究活動も大きく制限

学生たちにとってどんなメッセージを同窓会として贈ればいいのか考えさせられました。そうした中で理学部の先生から困窮している学生への経済支援のご依頼が同窓会にも寄せられました。活発な同窓会活動を継続する原点は、何よりも学生が充実した生活を送り大学の先生方や同窓生も含めて密接な関係を構築していくこととあります。静岡大学理学部を母校と呼べる、そうした役割を果たせるよう同窓会としても要請を重く受け止めます。是非ともご支援をお願いして挨拶とさせていただきます。

### コロナウイルス禍で困窮している学生への支援

コロナウイルスのワクチンの接種が医療関係者を対象にして開始されましたが、まだまだ沈静化には時間がかかるものと推定されます。静岡大学理学部でも、アルバイトで生計を維持している学生の中に、アルバイト収入の減少により学業の継続が困難な状況に陥っている学生が見られます。これらの学生の支援のため、4月中に2百万円の寄付金を集めたいと思っております。支援寄付金専用の振込用紙を同封いたします。一口千円からで結構ですので皆様方の篤い支援をお願いいたします。

静岡大学理学同窓会会長 鈴木富喜  
静岡大学理学部物理学教授 三重野哲  
静岡大学理学部化学科教授 坂本健吉

### 2021年各種会合のお知らせ

- 東京支部総会・岳陵会・龍爪の会との共同懇親会  
100周年プレイベント  
2022年1月29日(土)  
私学会館アルカディア (千代田区九段北)  
※コロナウイルスの状況次第で中止又は延期する場合があります。  
詳細は、理学同窓会のHPをご参照ください。
- 理学部 会総会  
100周年プレイベント  
科学講演会・懇親会  
11月13日(土)  
共通教育B・他  
詳細は、理学部 会総会のHPをご参照ください。
- 全学同窓会  
2022年交流会  
2022年6月4日(土)  
本年度6月に実施予定でしたが、コロナウイルスが沈静化の見通しが不明のため中止となりました。  
(中部支部活動報告参照、2020年7月19日)
- 中部支部 会・懇親会  
名古屋交流会 中止に伴い別途7月に開催する予定です。

同窓会 寄附金募集  
理学同窓会事務局までご連絡ください。

# 退任教員

数学科教授

浅芝 秀人



2007年4月に教授として赴任してからわずか14年になります。その間いろいろなお仕事がありました。赴任後しばらくして、理学部主催のサイエンスカフェに参加し始めました。毎回楽しい科学の話が聴ける市民講座で、講演終了後、講演者を招いて懇談する会もあり、それにも参加するようになりました。1年後には講演者として、圏とクイバーというタイトルで講演しました。毎回開始前30分の時間を設けられていたのですが、その出題グループにも加わり、代表の先生が転任されたからは代表者になってしまいました。そのうちに店長の番が回って来て、2年半務めることになりました。ご協力いただいたスタッフ、学生、参加者の皆様に大変感謝しています。いろいろなことを経験することができました。静岡大学の職住接近した環境があったからこそ参加できたものと思います。

静大在職中にも毎年(2020年以外)在外研究をする機会がありました。ポーンに6ヶ月、ヒレフェルトに3ヶ月、1ヶ月、シウトウトガルトに1ヶ月、2週間など。出発前に研究する問題を定めておき、滞在中に集中して研究するというスタイル

で、重要な結果はほとんどこのようにして得られました。そのお陰で、2圏論的被覆理論と導来同値について数学会で特別講演をさせていただきました。圏と表現論という本も出版できました。他にも共同研究や集中講義、研究会の出張で10数カ国に出かけそれぞれ1、2週間滞在することができました。外部資金では、普通は科研費基盤Cで十分でしたが、基盤Bを申請しなければならなくなつたときがあり、このときは大変でした。不採用になると研究費がなくなるため萌芽研究と同時に申請しました。連日の申請書類作成で疲れ果て、締め切りの日には力尽きてしまいました。これでは申請すらできないので、一旦睡眠を取って休みました。これがうまく行って、睡眠後何とか両方申請することができ、幸い両方とも苦労は報われました。他方、応用からはほど遠いと思っていた多元環の表現論が位相的データ解析に使えることが分かり、これを主題として2014年頃から応用数学の研究も手伝うことになりました。参加した研究グループの申請が「SIGMA」研究に採択され今日に至っています。

博士2名、修士11名、卒業研究生24名を送り出すことができました。今年度は、遠隔授業のために動画を撮るという経験もできました。大学運営では学科長3回以外に、学生委員長、入試委員長を務めさせていただきました。これらの役職は静大の皆様の助けなしにはこなすことはできませんでした。ご協力に心から感謝しています。研究室の窓から富士山とお茶畑が見え、温暖で過ごしやすく、交通の便がよいというすばらしい環境のなかで、大変有意義な人生の一時代を過ごさせていただきました。本当にありがとうございます。

物理学科教授

松山 晶彦



私が静岡大学に着任したのは、1986年の春で、丁度30歳の時でした。1986年は、4月にチエルノブイリの原発爆発事故があり、11月には、伊豆大島の三原山が噴火し、また東海地震の発生が社会問題になりつつあるなど、多少物騒がせな年でした。それ以来35年を静岡で、人生の半分以上を静岡で過ごしたことになります。

研究集会の世話人としては、環論および表現論シンポジウムの組織委員を12年間、そのうち3年間代表者を務めることになりました。またほぼ毎年2回ずつ、静岡代数学セミナーを代数のスタッフと協力して開催することができました。2019年には、参加者約150名の日中韓環論国際シンポジウムを代表者として無事開催することができました。在職中に、ポストドク4名、

良い印象を持っていました。実際に生活してみると、何かと居心地が良く、とうとう定年まで住み続けることになりました。

変なことでした。静岡大理学部にお世話になったことを、改めて心より感謝申し上げます。80年代後半は、バブル期で、また第2次ベビーブームで大学の定員増などもあり、今と較べても活気があったように思います。当時は教養部に所属していましたので、工学部向けの授業や学生実験種目を増やすなど、何かと大変でした。この35年間の大学をめぐると大きな変化といえ、大学設置基準の大綱化による教養部の改組と、大学の法人化でしょう。教養部改組については、当時会議が多くて、その度に改組の受け皿が替わるので、かなり戸惑った覚えがあります。結局、浜松地区に情報学部を新設することに落ち着きました。20数年を経て、現在の社会のIT化を考えると、これはこれで適切な判断だったように思います。大学の法人化は、結局のところ、運営交付金削減ばかりが目立って、今日のように大学はいわばジリ貧状態になってしまいました。

生物科学科教授

塩尻 信義



静大理学部での42年

私は、昭和58年4月に理学部生物科学科に赴任し、平成を越え令和3年3月に定年退職を迎えることになりました。この間38年です。学部も静大理学部卒業です(昭和49年4月入学)。合わせると42年静岡にお世話になったことになります。出身は京都府の片田舎で、そこで高校まで18年間過ごし、結構寒さは強かったのですが、今では静岡の暖かさに完全に順応し、かなりの寒がりになりました。

私にとって静岡は気候が温暖で居心地がいいということもありですが、お世話になった期間に示されるように、私のこれまでの人生、また今後の人生において静大理学部を抜きには語れないと思っています。特に42年間のなかではいろいろな人の出会い、そして学びがあり、これにより元気づけられ成長できました。結果として研究として教育を続けられたと思います。学生時代に接した先生方、赴任後一緒に働いた先生方や職員の方、先輩、同期生、後輩、そして一緒に研究を進められた研究室の卒業生・修了生との出会いはかけがえのないものであったように感じています。

た。赴任は昭和62年10月でした。昭和、平成、令和と長い間お世話になりました。最初はA棟5階に研究室があり、総合研究棟ができた時に、その6階に移りました。A棟で過ごした間は、研究室にはエアコンなどなく、夏は窓やドアを開けていわば開放的な生活でした。窓からは南アルプスがよく見えました。冬の暖房はガスストーブであつたためか学生さんとストーブを囲んで話をすることが懐かしく思い出されます。総合研究棟のリフレッシュスペースからは、駿河湾がよく見えます。学問・研究を行う上ではとても良い環境だと思っています。

生物科学科講師

成川 礼



静岡大学理学部生物科学科での充実した7年間

私は2021年4月に東京都立大学に准教授として異動することになりました。2014年4月に静岡大学理学部生物科学科に講師として着任し、研究や教育に邁進する充実した7年間を過ごすことができました。着任当初から、生物科学科、理学部の先生方だけでなく、他部局の先生方にも本当によくしていただき、とても良い環境で研究や教育に注力できました。お陰で、この7年間で、ラボメンバーが筆頭著者で私が最終・責任著者の原著論文を13報出すことができました。中でも、2019年にSIGMA誌に掲載された論文はグリーン研の宮崎先生、朴先生、農学部の河岸先生、崔先生との共同研究、2020年にFEES誌に掲載された論文は理学部地球科学科の木村先生との共同研究、2020年にSIGMA誌に掲載された論文はグリーン研の兼崎先生との共同研究の成果であり、静岡大学に在籍したからこそ、上げることができた成果だと考えています。また、優秀な学生さん達にも恵まれて、毎年のように学科長賞やコース長賞を受賞する学生さんを指導することができました。

生物科学科教授

山内 清志



理学部の思い出

退職にあたり、理学部の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。

私にとっては、主に両生類(オタマジャクシ)を用いた生理・生化学・分子生物学です。普段の研究は実験室内ですが、生物材料の採取のために、時々県内の池に出かけて、生息状況を見て回りました。最近、野生生物の激減や絶滅が社会的にも取り上げられています。様々な原因が挙げられますが、その中で人為的なものがたくさんあります。生物の多様性が保たれないと、それは人類の生活にも跳ね返ってくるようになります。実験室内だけでは知ることができないものを自然の生息地を観察することで学ぶことができます。一緒に採集に出かけた学生さんの多くは、今、社会の第一線で働いています。様々な困難に出くわすことがあるかと思いますが、そんなとき、学生時代に野外でオタマジャクシを採集したことを懐かしく思い出してもらえれば、うれしく思います。理学部の教職員の皆様、卒業生の皆様、また在校生の

した。静岡大学理学部の学生さんは素直で優秀な学生が多く、こちらの指導に

オフの時間には、私はビールが大好きなのですが、様々な先生方と一緒にビールを飲んで教育や研究について語る機会をたくさん持つことが

私は上述のように異動することになりましたが、この7年間で培った共同研究の縁はこれからも続きます。今後は静岡大学理学部の更なる飛躍を、外から後押しできるように振る舞いをできればと思います。7年間本当にお世話になりました。今後とも何卒よろしくお願いたします。

# 新任教員

地球科学科助教

LEGRAND Julien



## ■ 学歴

2003年 オルレアン大学理学部卒業(地質学)  
2005年 パリ第六大学大学院理学部(体系学・進化学・古生物学)・パリ第七大学東アジア語学部卒業(日本語)

京大大学院理学部日本政府奨学金留学  
2009年 パリ第六大学大学院理学部博士後期課程修了(博士(古生物学))

古植物学・古生態学。植物化石、特に花粉・胞子を主に研究しています。花粉・胞子の外壁は化学的に非常に安定な高分子化合物が主成分のため、約4億7千万年前から現在に至るまで、あらゆる堆積物から大量に見つかります。その膨大な記録をもとに、アンモナイトなどの示準化石が多産する日本の海成層を基軸とした古花粉学的解析を進めてきました。特に、中生代には生命圏の様相を一変させた被子植物の出現の様子は、東アジアにおいて未だに解明されておらず、その過程は興味深く、現地調査を重ね、被子植物の初期進化と急速な多様化から現代植生の形成までの過程を研究しています。

最近、東南アジアにおいて古生代の調査も始め、植物の陸上進出や古土壌の形成に関する研究を進めています。

2020年10月1日付で地球科学科助教に就任致しました。私はパリから西南に約80km離れたシャルトル出身です。シャルトルは中世の街で、ノートルダム大聖堂とスアンドグラスの「シャルトルブルー」で知られています。街に向かう時は麦畑の遥か彼方に大聖堂が見えてきます。

この様な地で育った私は山に憧れ、夏休みには毎年山でキャンプをしていました。ハイキングのほか、弓道(本多流)、ピアノ、馬術、等々勿論幼少期から「マクロス」や「聖闘士星矢」などの日本のアニメにも親しんでいました。博士課程在学中に日本政府奨学金を受け、2006年から2年間東京大学に留学出来たことは日本で研究を始めるきっかけとなりました。

学部生の時始めた古植物学と初期被子植物についての研究を日本で発展出来たのはとても幸いでした。静大着任後、私の研究に必要な設備が徐々に整いつつあるので、本格的な研究活動が楽しみです。ただ、古生物学ではフィールドが中心なので、現在、コロナ禍で国内外の調査活動が出来ず、1日も早い回復が待たれます。

化学科講師 関 朋宏



## ■ 学歴

2012年3月、千葉大学大学院 工学研究科 共生応用化学専攻 博士後期課程修了(博士(工学))

2012年4月、北海道大学大学院工学研究科 フロンティア化学教育研究センター 特任助教  
2015年4月、北海道大学大学院工学研究科助教  
2020年10月、静岡大学理学部化学科講師  
■ 専門分野と抱負  
機能性分子材料化学を専

門とする。研究対象は、有機分子が結晶化して形成される「分子結晶」であり、特に刺激応答性を示す新規材料を開発することを目指している。分子結晶の構成要素はたつた1種類の有機分子であるが、一部の分子結晶は、実際に多様な刺激応答性を示す。例えば、これまでに、光を当てる、氷点下程度まで冷却するといった単純な刺激を与えるだけ、ひとりでに動き出す結晶の開発に成功している。身の回りを見渡せば、ありとあらゆるモノが何らかの刺激で運動する(スイッチを入れれば動き出す扇風機など)が、その中にたつた、一つの構成要素で成り立つモノがあるだろうか? 電化製品は、数えきれない多様な部品で構成されているし、食虫動物であるハトリグサ(葉への接触がきっかけで葉を閉じる)は多様な細胞で構成されている。分子結晶の研究を通じて、構成要素がシンプルであつても、賢く働く材料を創成していきたいと考え、これからの研究に励んでいきたいと思つている。

計報  
中部支部 会計監査  
倉内 伸一  
(化学科1975年入学)  
多趣味で鉄道模型、溪流釣り、海外旅行などを楽しんで、今が、一番楽しいと言っていたとのことでした。本当に仲の良いご夫婦であつたようです。奥様も幸せな人生だったと思うと書いていらっしゃいました。改めて、倉内さんのご冥福をお祈りします。  
中部支部長 浦野功三

令和2年10月29日午後6時30分より静岡市葵区紺屋町8-13静岡駅前会議室L INKB館414号室において静岡大学理学同窓会の臨時理事会を開催した。

出席した理事 浅野、鈴木、平松、高塚、加藤、土屋、三重野、事務局員 松浦、計8名  
委任状 5通  
前記のとおり、出席と委任状があつたので、会則第10条に従い、前会長が議長になり、議事を進行した。

第1号議案 新会長推薦の件  
鈴木富喜氏を次期会長に推挙することになり、本人の承諾も得たので、新会長として承認された。  
第2号議案 会則の改訂  
(1) 第9条 役員任期の4年を、2年に改訂する。  
(2) 第10条 総会は、4年に1回以上とし、「を」を「毎年開催する。但し、社会情勢により開催できない場合は、議題の承認は役員会の決議によりこれを発行しない会報にて告知する。」に改訂する。  
第3号議案 会計報告・事業報告の件  
原案を承認する。  
ただし、下記のとよりの修正を行う。

# 理事会議事録

令和2年10月29日午後6時30分より静岡市葵区紺屋町8-13静岡駅前会議室L INKB館414号室において静岡大学理学同窓会の臨時理事会を開催した。

出席した理事 浅野、鈴木、平松、高塚、加藤、土屋、三重野、事務局員 松浦、計8名  
委任状 5通  
前記のとおり、出席と委任状があつたので、会則第10条に従い、前会長が議長になり、議事を進行した。

第1号議案 新会長推薦の件  
鈴木富喜氏を次期会長に推挙することになり、本人の承諾も得たので、新会長として承認された。  
第2号議案 会則の改訂  
(1) 第9条 役員任期の4年を、2年に改訂する。  
(2) 第10条 総会は、4年に1回以上とし、「を」を「毎年開催する。但し、社会情勢により開催できない場合は、議題の承認は役員会の決議によりこれを発行しない会報にて告知する。」に改訂する。  
第3号議案 会計報告・事業報告の件  
原案を承認する。  
ただし、下記のとよりの修正を行う。

以上をもつて臨時理事会の議案全部を終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ、午後7時50分散会した。  
令和2年10月29日  
静岡大学理学同窓会 臨時理事会  
議長 前会長 浅野 安人  
議事録確認者 三重野 哲  
議事録確認者 加藤 和男

第3号議案と併せて、見直したものを再度、郵送にて役員に連絡し、郵便投票にて採決を実施する。(7面参照)  
その他の審議事項  
(1) 同窓会の活動を維持してゆくためには、理事の若返りが必要。  
① 静大理学部の教職員の候補者として地球科学科の田阪美樹さん  
② 卒業生の中から地球科学科の加藤国男さん  
③ 数学科の大学院生から事務局の仕事を手伝してもらえ、事務局長を募集すること。  
(2) 同窓会の活動を維持してゆくためには、同窓会活動の手伝いができる人を増やすこと。  
郵便投票の際に、事務局の仕事の手伝いをしてもらう項目を書き加え、手伝える人に理事を絞つてゆくこと。  
① 百周年記念事業実行委員  
② 総会開催担当  
③ 会報作成  
④ 竹下昭二君から理事退任の申し出があつたこと。併せて和田秀樹君にも理事の退任をお願いすること。  
以下の事項は、継続審議事項とする。  
(1) 2021年3月発行の会報から理学同窓会会報の名称を「龍爪」とし、旧制静岡同窓会会報が98号で終わっていることから、2022年の発行時に百号となるように99号から始めることにしたい。  
以上をもつて臨時理事会の議案全部を終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ、午後7時50分散会した。  
令和2年10月29日  
静岡大学理学同窓会 臨時理事会  
議長 前会長 浅野 安人  
議事録確認者 三重野 哲  
議事録確認者 加藤 和男

# 東京支部活動報告

2月15日(土)第1回幹事会  
藤岡、長谷川、山川、志田、原、竹内、加藤、原口  
2月15日(土) 試行的懇談会、口大 参加者34名  
3月17日(火)支部長より支部総会の日程(5月30日予定)の延期について幹事に問い合わせ

4月3日(金)幹事会中止  
5月29日(金)幹事会中止  
5月30日(土)支部総会中止。9月5日(土)に延期へ(更に延期)  
6月19日(金)第2回幹事会  
藤岡、長谷川、足立、竹内、ホテルとの打ち合せ  
7月4日(土) 足立副支部長より九月五日の案内送付(これは中止)  
七月三十一日(金) 第3回幹事会とホテルとの打ち合わせ(2021年5月29日に再予約)  
その後は新型コロナウイルスのために集会が行わず。  
2021年1月末まで何も活動は行われていない。

■ 地学同窓会関係 理学同窓会と同じ  
3月7日(日)の緊急事態解除のあと幹事会予定  
5月29日(土) 東京支部総会 予定 アルカディア  
□ 試行的懇談会の報告  
2020年2月15日(土)  
趣旨: 一昨年6月に全学同窓会第3回東京交流会が開催されたが、次回の東京交流会の準備が始まるまでの間の在京同窓会会員の交流や情報交換を図る機会として試行的に開催した。  
講演 静岡大学理学同窓会 東京支部長 藤岡換太郎 (神奈川大学客員教授)  
「フォッサマグナの謎」日本列島の真ん中の大きな溝はどうしてできたのだろうか」  
終了後、場所を移し懇親会。

中部支部活動報告  
2021静大全学同窓会事前打ち合せ報告  
題記会議が行われ、2021全学同窓会中止を提案するという結論になりました。  
(議事)  
1 日時  
2020年7月19日(日)  
13:15~14:30  
2 場所  
日本特殊陶業市民会館  
3 出席者  
浜工会:西ヶ谷、藤田  
教育学部同窓会:伊藤  
理学同窓会:浦野、大石  
農学部同窓会:加茂、松中  
岳陵会:西村、藤田  
4 議事  
・ 自己紹介 全員  
・ 前回2017振り返り  
・ 2021全学同窓会対応方針  
① 会場の名古屋国際会議場は2021年の6月の土日は26日しか空いていない。  
9月は三日候補日があるが抽選になる。使用条件として飲食禁止に同意すること。(名古屋市内施設は現在在は全て飲食禁止) 会議室は、収容人員の半数で使うこと。  
② 岳陵会から、全学同窓会は過去に東京岳陵会提案により始まり、名古屋は浜工会に乗って全学としたという歴史があり、全学としての管理組織など実態がないことが指摘された。  
③ そのうえで、現状のコロナウイルス感染状況から、来年2月までに会場を決めて各準備を進めることは困難であり、また、出席者の安全を考慮し2021全学同窓会中止とすることを各学部同窓会に報告し了解を得る。  
5 依頼事項  
(1) 前記③についてご了解いただきたくお願いたします。  
2020/07/19 16:59 浦野  
会計報告を同窓会印に掲載

2021静大全学同窓会事前打ち合せ報告  
題記会議が行われ、2021全学同窓会中止を提案するという結論になりました。  
(議事)  
1 日時  
2020年7月19日(日)  
13:15~14:30  
2 場所  
日本特殊陶業市民会館  
3 出席者  
浜工会:西ヶ谷、藤田  
教育学部同窓会:伊藤  
理学同窓会:浦野、大石  
農学部同窓会:加茂、松中  
岳陵会:西村、藤田  
4 議事  
・ 自己紹介 全員  
・ 前回2017振り返り  
・ 2021全学同窓会対応方針  
① 会場の名古屋国際会議場は2021年の6月の土日は26日しか空いていない。  
9月は三日候補日があるが抽選になる。使用条件として飲食禁止に同意すること。(名古屋市内施設は現在在は全て飲食禁止) 会議室は、収容人員の半数で使うこと。  
② 岳陵会から、全学同窓会は過去に東京岳陵会提案により始まり、名古屋は浜工会に乗って全学としたという歴史があり、全学としての管理組織など実態がないことが指摘された。  
③ そのうえで、現状のコロナウイルス感染状況から、来年2月までに会場を決めて各準備を進めることは困難であり、また、出席者の安全を考慮し2021全学同窓会中止とすることを各学部同窓会に報告し了解を得る。  
5 依頼事項  
(1) 前記③についてご了解いただきたくお願いたします。  
2020/07/19 16:59 浦野  
会計報告を同窓会印に掲載

細胞への侵入経路 (※1)

体に入ってきた新型コロナウイルスが宿主細胞の細胞膜に侵入する過程は、治療薬やワクチンを開発する上で、非常に重要な情報となる。

コロナウイルス全般については既に多くの知見が蓄積されており、SARS-CoV-2の挙動を推定する上でも参考になる。



新型コロナウイルスSARS-CoV-2の細胞への侵入と増殖の過程～免疫応答～

新型コロナウイルスの姿 細胞から出てきたSARS-CoV-2のウイルス粒子。製薬会社がこれをブロックする方法を見つけない限り、感染は拡大する。

レセプターと呼ばれる宿主細胞のタンパク質が、表面のスパイクと結合し、細胞膜に侵入する過程は、治療薬やワクチンを開発する上で、非常に重要な情報となる。

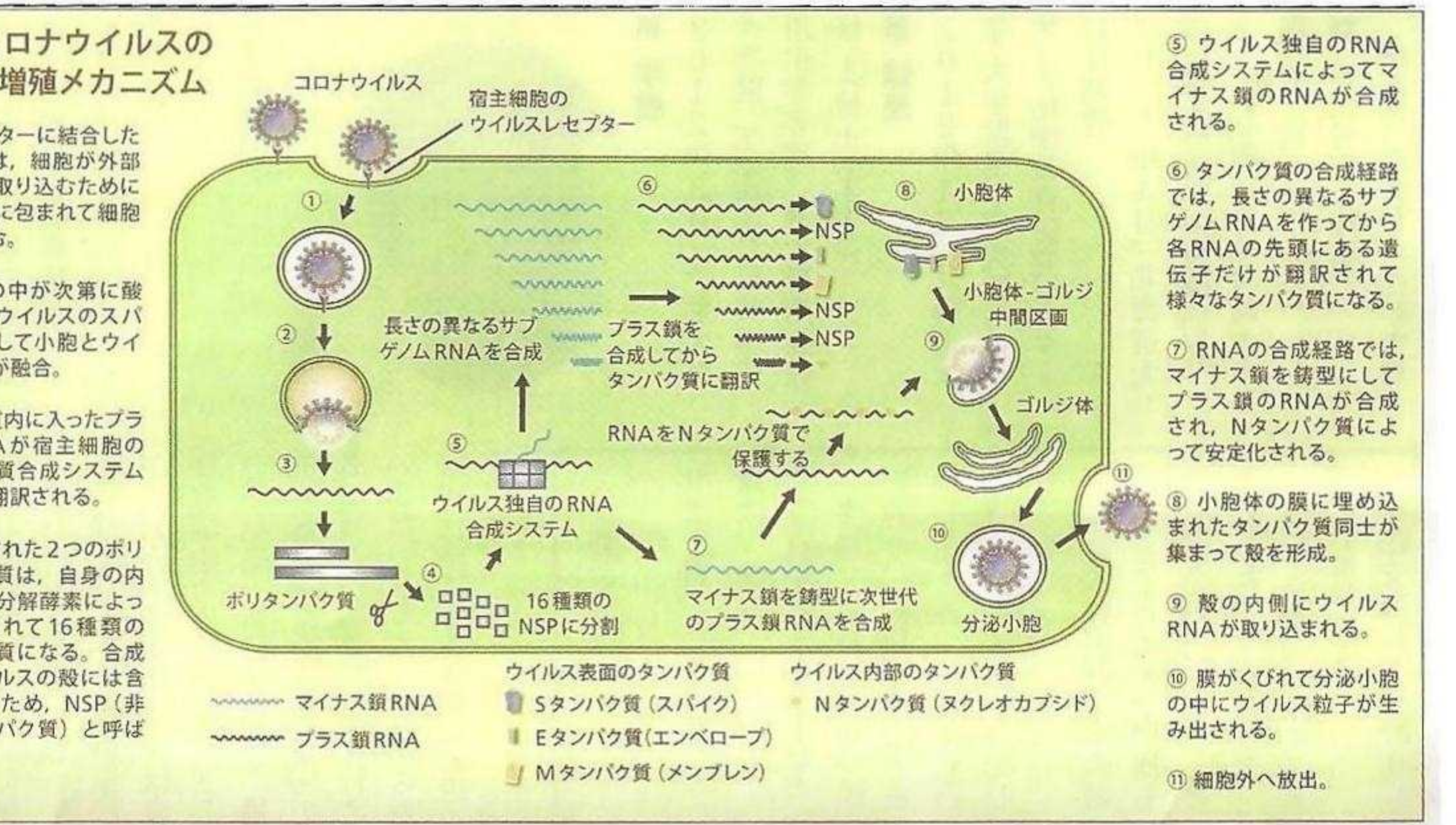


図1. コロナウイルスの侵入・増殖メカニズム

コロナウイルスは、表面のスパイクが宿主細胞の細胞膜にある「鍵穴(レセプター)」を認識して結合し、これを足がかりにして細胞の中に入り込む。SARSのレセプターは体のあちこちの細胞が持つアンジオテンシン変換酵素2 (ACE2) だ。テキサス大学オースティン校の研究チームはSARS-CoV-2のスパイクとACE2の結合をコンピュータでシミュレーションし、SARSより10倍強く結合したとの結果をScience誌に報告した。

レセプターの他にもウイルスの侵入を助ける宿主側のタンパク質がある。TPRSS2と呼ばれるタンパク質が、感染研究の岩田奈緒子らは2019年のJournal of Virology誌で、この酵素を欠損したマウスではSARS-CoV-2に感染しても報告がマイルドになることを報告している。

多様な抗体ができるわけ (※4)

抗体は、先端部の形状を変えて、様々な病原体を標的にすることで、様々な病原体の攻撃を受けてから設計されるように思えるが、実際はそうではない。抗体は免疫細胞の一種であるB細胞によって作られるが、体内にはもともと多様な先端部を作る無数のB細胞が備わっている。1つのB細胞が作られる抗体は1種類だけだが、数多あるB細胞が病原体の情報をもった細胞表面のセンサーや他の免疫細胞から入手し、自分の作る抗体と合成する場合だけ活性化して分裂し、大量の抗体を作り出すようになる。

図2. 多様な抗体

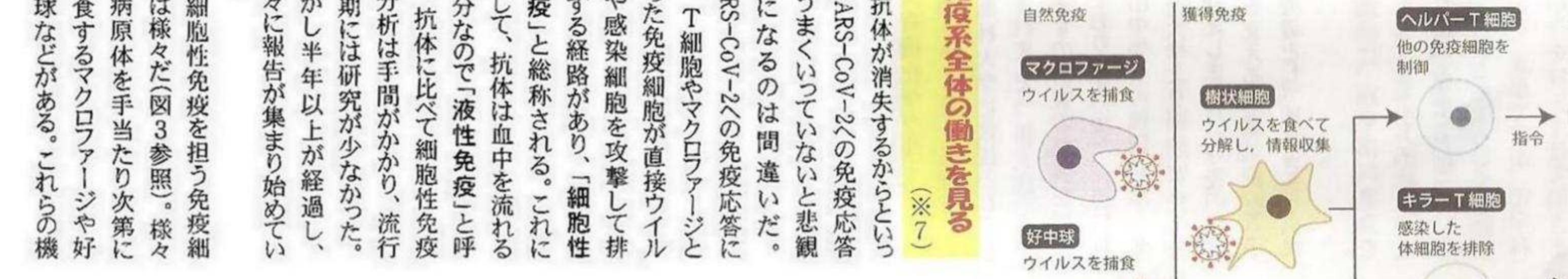


図2. 多様な抗体

抗体は様々なタイプがある(左)。同じウイルスを認識する抗体でも先端部の形によってくっつく場所や結合力は違い(中央)、感染を抑える能力も異なる(右)。

HAEG可能性 (※6)

そのほかの候補に挙げられているのがHEA(ヒト白血球抗原)だ。細胞の表面にあるタンパク質で血液型より多い数万通りの型が存在する。HEAは免疫系に必要な不可欠だ。病原体に遭遇した樹状細胞は病原体を食べたタンパク質を10〜20個程度のアミノ酸が連なったペプチドの断片にする。細胞の表面にあるHEAは溝状の凹みをもった構造をしていて、この溝に断片を結合して細胞表面に提示する。溝の形状はHEAの型によって異なる。型ごとに結合しやすいため、HEAの型によってその人の免疫系が対処しやすい病原体の種類が決まってくる。

免疫系全体の働きを見る (※7)

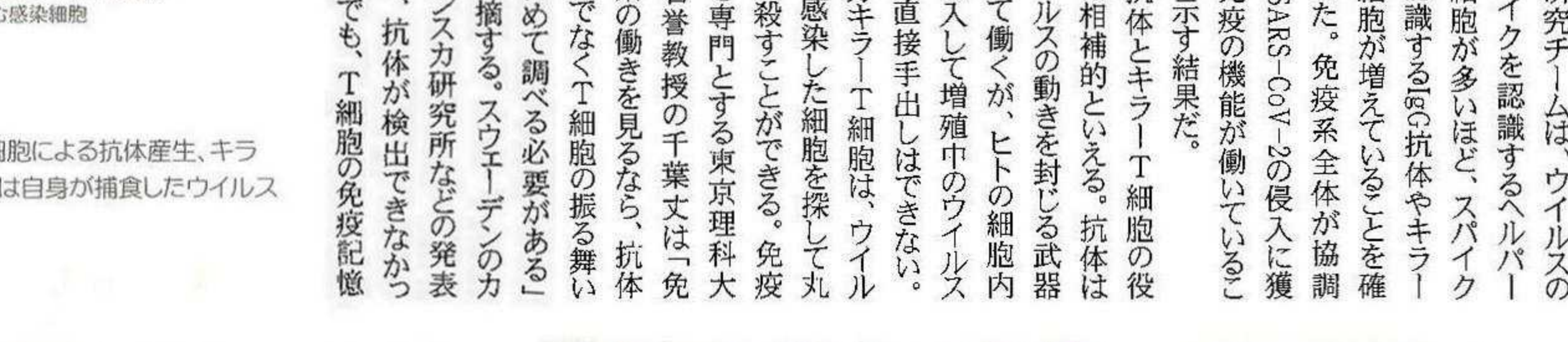


図3. 様々な経路で起こる免疫応答

免疫系の問いはここで起きるか (※8)

これまでの研究は、どれも患者から血液等採取し、試験管内でウイルスのタンパク質などと反応させて免疫応答を評価してきた。一方、体内で起る現象を詳しく知るには、どの場所でウイルスが感染し、免疫応答が起きているかが重要になる。

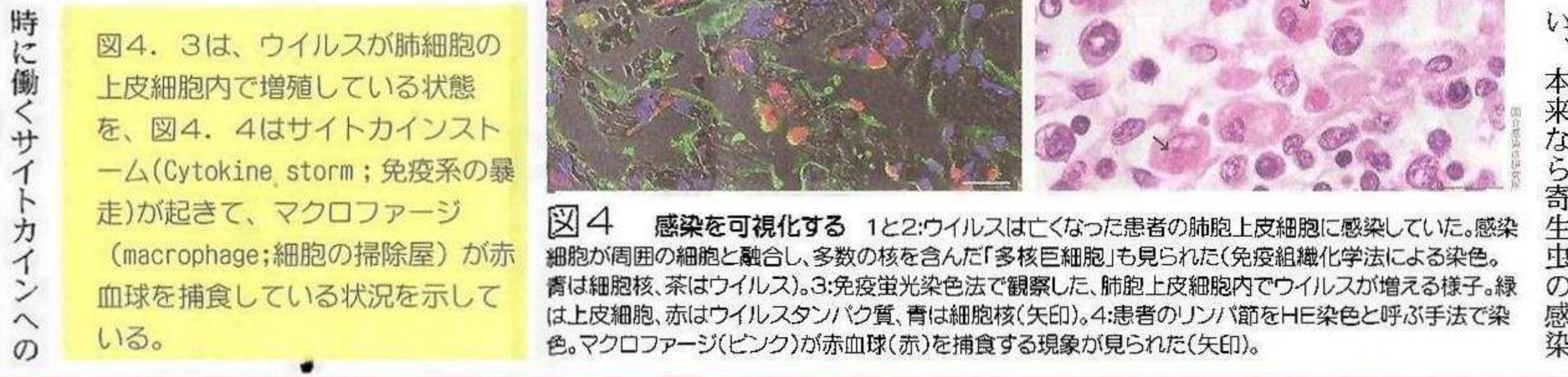


図4. 3は、ウイルスが肺細胞の上皮細胞内で増殖している状態を、図4. 4はサイトカインストーム(Cytokine storm)が起きている状態を示している。

免疫系全体の働きを見る (※7)

抗体が消失するからといってSARS-CoV-2への免疫応答がうまくいっていないと悲観的になるのは間違っている。SARS-CoV-2の免疫応答には、T細胞やマクロファージといった免疫細胞が直接ウイルスや感染細胞を攻撃して排除する経路があり、「細胞性免疫」と総称される。これに対して、抗体は血中を流れる成分なので「液性免疫」と呼ぶ。抗体に比べて細胞性免疫の分析は手間がかかり、流行初期には研究が少なかった。しかし半年以上が経過し、徐々に報告が集まり始めている。

免疫系の問いはここで起きるか (※8)

これまでの研究は、どれも患者から血液等採取し、試験管内でウイルスのタンパク質などと反応させて免疫応答を評価してきた。一方、体内で起る現象を詳しく知るには、どの場所でウイルスが感染し、免疫応答が起きているかが重要になる。

免疫系の問いはここで起きるか (※8)

これまでの研究は、どれも患者から血液等採取し、試験管内でウイルスのタンパク質などと反応させて免疫応答を評価してきた。一方、体内で起る現象を詳しく知るには、どの場所でウイルスが感染し、免疫応答が起きているかが重要になる。

免疫系の問いはここで起きるか (※8)

これまでの研究は、どれも患者から血液等採取し、試験管内でウイルスのタンパク質などと反応させて免疫応答を評価してきた。一方、体内で起る現象を詳しく知るには、どの場所でウイルスが感染し、免疫応答が起きているかが重要になる。

体内のウイルスSARS-CoV-2の量を調べ、臓器や器官の組織別に感染しているウイルス量を評価した。最も多かったのは肺だ。次は肺に向かう気管支で、どの肺にも一定量が検出された。肝臓や脾臓、腸からもウイルスは見つかったが、肺等々から血中に入り込んだウイルスが検出された可能性もある。さらに分析が必要だとされている。

※1 日経サイエンス2020年5月号。 ※2 エンソサイトーシス(endoctosis)とは細胞が細胞外の物質を取り込む過程の1つ。細胞に必要な物質のあるものは極性を保持しつつ、大きな分子であるが、疎水性の物質から成る細胞膜を通り抜ける事ができない。このためエンドサイトーシスにより細胞内に輸送される。エンソサイトーシスとは反対の現象であり、これは逆に細胞膜の一部が小胞を形成する。 ※3 エンソサイトーシス(ectocytosis)とは細胞が細胞内の物質を外に排出する過程の1つ。 ※4 日経サイエンス2020年10月号 ※5 日経サイエンス2020年7月号 ※6 日経サイエンス2020年8月号

# 数学科の活動

数学科 久村裕憲

今年度はコロナウイルスに本当に翻弄されました。新型コロナウイルスが2019年11月に中国武漢市付近で初めて発生が確認され、その後、パンデミックになりました。これにより静岡大学のみなならず全ての教育機関において、教育が大きな制約を受けるところになりました。

## 物理学科の活動

物理学科 富田 誠

コロナ禍のもと、物理学科でも多くの授業がオンラインで行われることになりました。学生アンケートが進められ、部内質保証委員の森田先生を中心に、オンライン講義の向上について議論が進められました。高学年の学生にはビデオ講義などは、資料が見やすい、繰り返し視聴できるなど、メリットもあるようです。研究室ゼミも多くはオンラインで行われています。私の経験では、資料の共有、双方向コミュニケーションなどは、対面式以上の効果的なゼミが可能であるとの印象です。痛々しいのはやはり新1年生で、大学の様子も分からない、友人もまだ出来ていないなかでの大学閉鎖は、精神的にも大変であったことがうかがえます。また、物理学科では、実験がカリキュラムに多く配置されているのですが、こちらは、大幅な内容の削減を余儀なくされています。同窓会寄付講義は伊藤哲氏(静岡工学部准教授)に講演していただきました。前期授業の終了後、足立先生により数学科の学部生・修士大学院生全員に対して、アンケートが実施され、

問題点とそれに対する改善点が示されました。後期からは新型コロナがやや下火になり対面授業が、特に教養科目に対し行われています。大学も少し活気がよみがえったようです。しかし11月頃から新型コロナウィルスが再び流行し始めています。コロナウィルスの拡大が一瞬も早く治まり、本来の大学生活が戻ることを願います。

と議論を交わすこと、実験・実習が行えること、感じました。物理学科では、松山晶彦先生(原子核反応の理論的研究)が定年を迎えます。一方、大学院物理学コースでは、従来の理学部の教員に加え、新たに教育学部の2名の先生(古賀幹人先生「物性理論: 相関電子系の固体物理」、内山秀樹先生「宇宙物理学: 天の川銀河の高エネルギー活動」)が担当に加わり、専攻可能な分野も豊かになりました。

4年生、M2は、不安を抱えての就職活動であったと思います。コロナウィルスの影響は今後の分析も必要ですが、2020年度卒業生は、例年通り、順調に就職を決めているように思います。また、2021年度卒業生に対する求人数は昨年よりも影響は小さいように思います。「新しい生活様式」「カーボンゼロ」という社会は、情報産業を始め多くの技術発展が不可欠で、柔軟な思考力と分析能力をもった物理学科卒業生への需要は、増加することはあっても、減少することはないかもしれません。

本同窓会の寄付講義も、当初は講師の先生方を本学にお招きし、直接お話しを聞く予定でしたが、最終的には全てリモート形式の講義となりました。最後の対面式の講義を行えるか検討を行い、何度も日程を調整し直しましたが、コロナ禍の収束が見えず、やむを得ない措置となりました。化学科の卒業生の講師には、大吉研究室で博士号を取得し、現在名古屋大学のシンクロトロン光研究センターで技術職員として活躍しておられる高須謙太郎先生にお引き受け頂けました。最先端の研究機関における業務内容とやりがいに加え、博士課程を修了した後についてご紹介頂きました。資料を介した形とはなりませんが、受講した修士課程の学生にとって、将来を考える上での貴重な講義となった

と思います。ありがとうございます。コロナ禍でいろいろと活動が制限される中ではあります。が、化学科では、教育と研究で成果を挙げられるよう、奮闘を続けています。専門実験では、密を作らないように、日程や人の配置を調整しながら実習実験を行い、また、学会やシンポジウムはZOOMのようなりモートを紹介した発表を行なっています。少し前に化学科のホームページが、松本剛昭先生に刷新頂きました。化学科の活動が非常にわかりやすく紹介されています。トピックス等も速やかに掲載頂けていますので、お時間のあるおりにぜひご覧いただきたいと思います。

また、優れた業績を上げて続けて来られた山中正道先生(有機化学グループ)が、令和2年4月1日付けで明治薬科大学に教授として異動されました。新天地でのますますの研究の発展を祈念しております。また、この10月に山中先生の後任として、北海道大学より関根宏先生をお迎えしました。今後の化学科を支える新進気鋭の若手研究者として期待されています。

最後に、理学部同窓会を通して、卒業生との絆が繋がりに続けることを願っています。今後ともよろしくお願います。簡単ですが、化学科の紹介を終えさせていただきます。

## 化学科の活動

化学科 近藤 満

令和2年度はコロナ禍に翻弄され、例年には無い対応を迫られた1年となりました。令和2年2月より広がり始めたコロナウィルスの影響で、3月の卒業式、修了式、4月の入学式が相次いで中止となりました。残念な思いをした卒業生、修了生、また新入生、保護者の方も多かった

のではないかと思います。講義も通常通り開始することはできず、4月の終わりから、動画や講義資料をネットで配信するオンデマンド型の講義が開始されました。受講する学生だけでなく、講義を担当する教員にとっても手探りの状態のスタートとなりました。これまで経験のない、これらの講義をスタートさせるにあたり、日程調整、動画資料の作成のための講習会開催、事務の方々と情報処理の教職員の皆さんに大変お世話になりました。

理学部 各学科活動報告

理学部 各学科活動報告

理学部 各学科活動報告

理学部 各学科活動報告

理学部 各学科活動報告

理学部 各学科活動報告

## 生物科学科の活動

生物科学科 石原顕紀

生物科学科では、令和2年3月に学部48名、修士課程18名が卒業・修了しました

生物科学科の活動

生物科学科の活動

生物科学科の活動

生物科学科の活動

生物科学科の活動

生物科学科の活動

も、慣れないオンデマンド教材の作成に注力し、なんとか前期を乗り切りました。後期に入つて以降は、少しずつ対面授業、実習の機会が増えてきており、学生さんも積極的に勉学に取り組んでいます。

また、令和2年度をもつて、長年理学部、生物科学科に多大なる貢献を頂きました塩尻信義教授、山内清志教授が定年によりご退職されます。生物科学科として、深い感謝を表したいと思います。

最後に、同窓生の皆様のご健康、ご活躍を祈念しております。

7月31日には、静岡大学地球科学研究報告の47号が出版されました。9月4日に本教室の1978年度卒の岩田孝仁特任教授(前本学防災総合センター・センター長)が「令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

10月にサイエンスカフェin静岡特別編において北村晃寿教授が「過去5000年間の南海・駿河トラフ巨大地震による駿河湾の津波と海底地すべり」というタイトルで静岡大TVに動画を公開しました。

10月22日に大学院生の永田有里奈さんが「日本地質学会 構造地質部会2020年オンライン例会」において学生優秀発表賞を受賞しました。

10月26日には大学院生の山佳典史さんが日本測地学会第134回講演会(2020年10月21日〜23日)で発表を行い、学生優秀発表賞を受賞しました。

## 地球科学科の活動

地球科学科 田阪美樹

2020年度の理学部地球科学科(学科長・木村浩之)は、教員13名の体制で始まり、年度途中で1件の教員人事が行われ、選挙の結果10月1日付でLegend, Julie教員が東京大学より着任しました。この他、理学部創造理学コース担当のDier Gaele教員、防災総合センターの原田賢治教員が、学部生の教育に関わっています。年度初めには、学部の新入生として45名、大学院修士課程の新入生として15名を迎えました。今年度本学で迎えた出来事を学科のWEBページなどから抜粋して、時系列順に記載しました。

サイエンスカフェin静岡特別編にて久保篤史教員が「化学の目で見る豊かな海」というタイトルで、田阪美樹教員が「地球内部で宝石がゆっくり流動する話」というタイトルで、それぞれ静岡大TVに動画を今年度中に公開予定です。

理学部ニュース

- 2020. 3. 10 理学部B棟改修工事完了
2020. 3. 19 「サイエンスカフェin静岡」第30シーズン(新型コロナウイルスの影響で中止)
2020. 4. 4 入学式(新型コロナウイルスの影響で中止)
2020. 4. 10 法月亮介さん(理学専攻化学コース1年)が日本原子力学会においてフェロー賞を受賞
2020. 5. 30 理学同窓会東京支部総会・懇親会(中止)
2020. 6. 7 全学同窓会2020静岡地区交流会(中止)
2020. 6. 14 理学同窓会中部支部総会・懇親会(中止)
2020. 7. 20 静岡大学東部サテライト「三余塾」開所(伊豆市青羽根65-1)
2020. 7. 29 北村晃寿教授が2020年度日本第四紀学会学術賞を受賞
2020. 9. 17 「サイエンスカフェin静岡」第31シーズン(新型コロナウイルスの影響で会場での開催中止、静大TVで配信)
2020. 10. 09 孫飛さん(理学部附属放射科学教育研究推進センター 学術研究員)が日本原子力学会核融合部会奨励賞を受賞
2020. 10. 20 赤星江莉加さんが日本原子力学会にて優秀賞を受賞
2020. 10. 20 三浦颯太さんが日本原子力学会にて優秀賞を受賞
2020. 10. 22 永田有里奈さんが「日本地質学会 構造地質部会 2020年オンライン例会」において学生優秀発表賞を受賞
2020. 10. 26 山佳典史さん(地球科学コース)が日本測地学会講演会で学生優秀発表賞を受賞
2020. 11. 14 理学同窓会科学講演会・総会・懇親会(中止)
11. 14-11. 15 静大祭・静岡地区(中止)
2020. 11. 19 小池彩華さんが「3rd Asia Pacific Symposium on Tritium Science (APSOT-3)」において若手賞を受賞
2021. 2. 11 総合型・学校推薦型選抜入学試験
2021. 2. 25 前期入学試験
2021. 3. 10 後期入学試験
2021. 3. 23 卒業式(規模を縮小して実施)
学位授与式(理学部内にて各学科毎に時差で実施)
卒業祝賀会(中止)



2020年3月19日 第30シーズンのサイエンスカフェは新型コロナウイルスの影響により会場での講演を中止しました。
2020年6月25日 徳元俊伸先生による「光るサカナのその後、透明キンギョとゲノム編集」(サイエンスカフェin静岡 特別編)の動画を公開しました。

2021年2月3日 久保篤史先生による「化学の目で見る「豊かな海」」(サイエンスカフェin静岡 特別編)の動画を公開しました。
2021年2月3日 田阪美樹先生による「地球内部で宝石がゆつくり流動する話」(サイエンスカフェin静岡 特別編)の動画を公開しました。

静岡大学と浜松医科大学は、2021年1月29日(金)に、「静岡大学・浜松医科大学 法人統合・大学再編に関する共同記者会見」を静岡キャンパスにて行った。
両大学では、2022年4月の学生受入れを目指して法人統合・大学再編に向けた協議を進めてきました。

法人統合・大学再編の延期

2020年10月20日、任期満了に伴う静岡大学の学長選挙で、人文社会科学部長の川田善正教授(67)が次期学長に決定した。争点は浜松医科大学との統合・再編問題。日誌教授は再編に慎重な立場、も

Table with financial data for 2020/10/17. Columns include 収入の部 (前年度繰越金, 年会費, etc.), 支出の部 (印刷費, 通信費, etc.), and 別会計 (100周年寄付金前年度分, etc.).

Table with activity schedule for 2021. Columns include 日付 (2020年10月29日, etc.), 行事 (第1回理事会, etc.), and 場所 (駅前会議室, etc.).

Table with financial data for 2020/9/30. Columns include 収入の部 (前年度繰越金, etc.), 支出の部 (印刷費, etc.), and 別会計 (100周年寄付金前年度分, etc.).

理学部の前身である旧制静岡高等学校の設立から今年で99年目にあたります。百周年の節目が近づいており、想像がつかない長い歴史を感じます。その旧制静岡にも同窓会が存在してありましたが、その解散にあわせて同窓会会報が第97号の発行で休刊となりました。

事務局だより
理学部の前身である旧制静岡高等学校の設立から今年で99年目にあたります。百周年の節目が近づいており、想像がつかない長い歴史を感じます。その旧制静岡にも同窓会が存在してありましたが、その解散にあわせて同窓会会報が第97号の発行で休刊となりました。

Table with activity schedule for 2020. Columns include 日付 (2019年10月5日, etc.), 行事 (2020静岡地区交流会打合せ, etc.), and 場所 (静岡会議室LINK, etc.).



寄稿(その一)

「龍爪」と私

竹島 茂(21文三)

同窓会にはまったく関心のなかつたところか、会費さえろくに払っていないが、私が、いつの間にか同窓会の会報に関わりを持つようになり、ついには名義人をしばらく務めることになった。いきさつをいまさらあれこれ述べても仕方あるまい。どうせ関わるなら意味のあることをやろう。

まず考えたのが、我々太平洋戦争末期に高校生活を送ったものには先輩諸兄の体験したようないわゆる「いい思い出」がないというところだった。あの時代に我々が味わった高校生活というものを他の世代の先輩たちに知ってもらおう。そう思って、それまでほとんど紙面に登場しなかった20回、21回、22回の同窓生にせつせと手紙を書き、「龍爪」への投稿を呼びかけた。成果が現れるにはいささか時間がかかったが、「龍爪」の合本で確かめると、昭和53年春発行の2号に、「東大野球部の一裏面史」(長塚隆二)、「友の遺史」(長塚隆二)、「荒井信一」(古川葉書の思い出)、「堀雄」といったユニークなエッセイが束になって載っている。

続いて企画したのは、歴代炊事部長放談会(25号)で、これが好評だったのに力を得て、「静高寮史のルーツを探る」(28号)、「嵐の中に立つ静高自治寮」(29号)、「自治なき時代の寮と学校生活」(30号)、「軍国主義突入直前の静高な時間」(31号)、「焼跡闊歩」(33号)といった具合で座談会を連発、企画する側の自分もいろいろ学ぶ点が多く楽しかったが、同窓会の皆さんからは、やんやの喝采をいただいた。私が初めて「龍爪」に関わったころには同窓会の方と合本も相当に厳しかったらしいが、やがて会費の納入状況も好転して事務局長の野口治郎さんの機嫌も上々だった。

「龍爪」と20年

上杉重吉(23文二)

小学生の時代から龍爪山に登り、また毎日山容を眺めながら育ってきたことを思い出すと「龍爪」との縁の深さを感じる。 呉服町五丁目の家から御用邸の横を通り、外堀の城代橋を渡って左側の城内東小(現、青葉小)へ通学したが、隣の泉立文庫の向こうに龍爪山が聳えていた。 龍爪山は薬師岳(1051m)と文殊岳(1041m)という二つの山頂をもち、古くから信仰の山で、今は東海自然歩道が通じ、北東には麗峰富士を眺める展望の山である。昭和15年の春、静岡中学(現静岡高)に

そのころ、人気教授だった望月勝海先生が日記を残して亡くなったという話を聞き、早速お宅を訪問して拝借した。膨大な日記をどう活用させてもらうかについては、誰も相談する相手もなく、結局、先生が静岡連隊に入隊された時期の日記を選んで抄録させていた。 だくこととした。当時静高の配属将校だった近藤大佐が、ひととき静校を離れて静岡連隊長になっていた。私もお二人の対面する光景に興味を持ったのである。 この記事は35号、36号に掲載された(後に望月勝海「芙蓉軒日録抄」として刊行)。

間もなく私は東京を離れ茨城県つくば市(当時はまだ桜村と書いていた)に移転したが、しばらくの間はしばしば上京して野口さんの店(同窓会事務所)に顔を出していた。42号に載せた「原爆一学友たちの「寒翁

が馬」という同級生の矢野有希彦の文章には圧倒された。結局これが「龍爪」で私が担当した最後の原稿になった。

寄稿(その二)

「龍爪」と私

上杉重吉(23文二)

小学生の時代から龍爪山に登り、また毎日山容を眺めながら育ってきたことを思い出すと「龍爪」との縁の深さを感じる。 呉服町五丁目の家から御用邸の横を通り、外堀の城代橋を渡って左側の城内東小(現、青葉小)へ通学したが、隣の泉立文庫の向こうに龍爪山が聳えていた。 龍爪山は薬師岳(1051m)と文殊岳(1041m)という二つの山頂をもち、古くから信仰の山で、今は東海自然歩道が通じ、北東には麗峰富士を眺める展望の山である。昭和15年の春、静岡中学(現静岡高)に

入学する2か月半前に静岡大火で5千余戸が焼失し、その5年後、旧制静校に入學(式はこの年だけ7月1日)する10日前、大空襲で全市焦土となり被災者11万4千名、死者千7百名、安倍川原に逃げ延びた歩道の防空壕に飛び込むこと十数回、よく生き残ったものだが、焼け跡から龍爪山の変わらぬ姿を見て深い感慨を覚えたものである。昭和27年に社会人になり、幼年クラブ・なかよし・学習雑誌および辞典類と、仕事は専ら出版編集関係一そして、同窓会発展の功労者、野口治郎・村尾次郎・久保田正英・土屋公献諸氏の推挙と伺ったが、58年8月の「龍爪第38号」から編集委員の一人となり、今日まで微力を尽くしてきた。 また、5年毎の記念事業として刊行した多数の記念誌および名簿の作成や、「龍爪合本」(二冊の合計千五百余頁に関係してきた

が、一緒に苦勞を重ね、編集会議のあとなど新宿で飲みながら懇談した吉野晋・笠松草一郎・福田大昭の三氏が次々と逝去されたのは残念なことであった。 長い間、多数の同窓諸兄に接したり、連絡し合いながら、とくに竹島茂氏などに励まされながら、20余年間、冬と夏の各二カ月編集に当り、「龍爪」と過ごしてきた日々が懐かしい。 これまで編集者故に投稿したこともあまりなかったが、今後の同窓会活動の拠点として、「龍爪」がより強力な役割をはたすことを心から念じている。 なお、「龍爪」創刊以来、印刷をはじめ種々ご協力いただいた幸印刷株式会社(創業：13文乙竹田恒男氏が50年に及ぶ社業をこのたび停止：父子二代、長い間のご尽力に、同窓生一同にかわって感謝申し上げる次第である。 『龍爪80号』よりの出典



理学部2021年

田中直樹

JUN. 8, 2020

一部の対面授業開始に合わせて、私にとって2回目のブログを書く機会となります。多くの科目で在宅授業が続きますが、皆さんの在宅授業の印象はいかがでしょう。対面授業のように、要所で問いかけを通

入、皆さんの理解度を確認しながら進めることができず、やはり目の前に皆さんが居てこそ授業が成立するのだと痛感しています。数学の学習について直接伝える機会が少ないので、ここで参考になる本をご紹介します。その本とは、「いかかにして問題をとくか」(柿内賢信訳、G・ポリア著：丸善株式会社)です。その本の中にある問いや注意に

その人たちが導いた定理を授業で扱っていますので、その考え方にふれながら、定理の持つ意味を考えてみてはいかがでしょう。 今回は、私が大学時代に

はあるので、奇麗な定理を目指しなさい。」と仰っておられました。包括的で純粋な研究テーマに打ち込むことの大切さを教わり、好きな抽象的枠組みの構築に没頭でき、この道に進むきっかけとなりました。これを書きながら、改めて皆さんにとつての良き恩師になれているだろうかと思っています。2人目は、企業で活躍している元クラスメイトです。公私に渡り助言をもらえる頼もしいお兄さんの存在で、学部学生の頃からは現在に至るまで交流が続いています。現在は、数理・データサイエンス教育プログラムの充実に向けて協力してくれています。3人目は、常にライバル的な存在であった元信州大学教授です。誕生日は数日の違いですが、残念ながら数年前に病気が原因で亡くなっています。切磋琢磨できる相手がいたことで、

研究が行き詰まった時も頑張れたように思います。皆さんにも、これから先もずっと、よい影響をお互いに与えあえるような人と出会う機会を大学生活で得られることを願っています。

最後にありますが、写真の木の名前を皆さんはご存じですか。その木は、現在の大谷キャンパスに移る前に静岡大学があった場所に植えられています。5月初旬にとつても綺麗な花を咲か

せませす。写真よりずっと奇麗で素敵なので、是非その場所を探して来年訪ねてみてください。 皆さんと対面で授業をするのはもう少し先になりそうですが、一日も早くお会いできることを楽しみにしています。

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

理学部のみなさん、元気にしていますか？そして、新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。県外から来られた方も多いのではないのでしょうか？

「龍爪の会」中止のお知らせ 例年秋に開催しております「龍爪の会」ですが、コロナウイルス収束はまだ見通せない状態が続いており、当分の間自粛せねばならないと判断いたしました。したがって誠に残念ですが今年度の開催を中止とさせて頂きたいと思っております。 コロナウイルスの状況が好転し、開催の目途がついた段階で、改めてご案内申し上げます。 令和2年9月15日 世話人 草野芳正